

## 特集 未踏ユースから育ったタレントたち

5

## 未踏が育ててくれたセンサデータベース

川島 英之 筑波大学大学院システム情報工学研究科／同大学計算科学研究センター

正会員、2002年未踏ユース採択（竹内 PM）、2005年慶應義塾大学大学院博士課程修了。同年、同大助手。同年、未踏本事業採択（千葉 PM）、2007年筑波大学講師。博士（工学）。kawasima@cs.tsukuba.ac.jp

## 未踏ユース

「とんでもない所へ来てしまった」。未踏ユース採択者による宿泊（ブースト会議）で出会った綺羅星のごとき採択者たちと話をするにつれ、より深く自分の無能ぶりを噛みしめていた私の中で、この恐怖は急速に膨れ上がっていきました。

「センサデータを扱うにふさわしいデータベースとはいかなるものか?」この問いに対する解を求め、私は博士課程での研究を進めていました。しかし研究は遅々として進まず、苦悩する日々が続いていました。そんなある日、未踏ユースを知りました。竹内 PM からアドバイスをいただくことができ、さらに財政支援もあるという話に驚き、私は分不相応であると自覚しつつも支援をいただきたく、応募したところ、不思議にも採択されました。

採択通知をもらい、ブースト会議に参加したとき、冒頭のごとく事態は深刻であることに気がきました。他の採択者の優秀さに驚嘆したからです。同期には岡野原大輔さん、比戸将平さん、永安悟史さん、渡辺宙志さん、そして油井誠さんら、精鋭が揃っていました。彼らに伍する成果を出さねばならない——ブースト会議から未踏ユース開発期間が終わるまでの間、人生で最も懸命で忙しく苦しい日々を送りました。その時期、自分のすべてを開発に捧げたと記憶しています。

努力は実らず開発は失敗しました。失敗後は2007年2月（後述）まで、数年にわたり昼夜を問わず辛い思いをしました。辛い思いを払拭するには、期間終了後も研究開発を継続するしかありませんでした。気付けば博士号を取得していました。

## 未踏本体

捲土重来を期し2006年度未踏本体に応募したところ、幸いにも千葉滋 PM に採択されました。千葉 PM からは研究・開発・教育にわたる多くを勉強させていただきました。このときに開発したシステムは、SQL ライクな問合せ

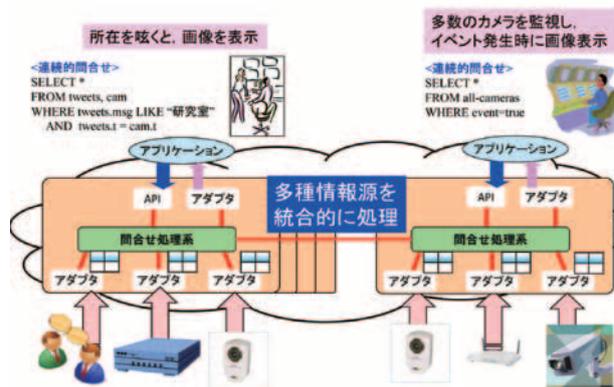


図-1 ストリームデータ処理システム

により、リレーショナルデータ処理に加えて類似シーケンス検索（Euclid, DTW, LCSS）を提供し、さらに周期的問合せと高速永続化といった機能を提供しました。このシステムは一定の範囲に使っていただくことができました。

このころ、後輩である辻良繁さんも未踏ユースに採択され、その開発成果が ACM SIGMOD Undergraduate Award を受賞したことは、関係者である私にとっても大きな喜びでした。

## 未踏とは何か?

未踏本体の終わる2007年2月に、現職である筑波大学へ着任しました。今でも目標は世界にインパクトを与えるセンサデータベースの開発ですが、特にストリームデータ処理システム（図-1）の開発に北川博之先生とともに取り組んでいます。原稿執筆時の研究業績は査読付き論文誌20件、査読付き国際会議論文37件、招待講演12件となりました。未踏に出会う前にあれほど無能だった自分がここまで成長できたのは、ひとえに未踏のおかげです。不思議なことに優れた研究者には未踏経験者が多数います。未踏は研究者育成を目的にしていますが、研究者にとって必要なことも教えてくれる豊穡な教育の場でもあるでしょう。今後とも未踏が優れた人材を輩出することを願ってやみません。（2011年9月16日受付）